



市内には由緒あるお寺がたくさんありますが、今回は豊岡町にある千姫様ゆかりの「弘経寺」を訪ねました。3年ぶりに開催された千姫まつりや、千姫様を主人公とした大河ドラマの実現に向けた署名活動も始まりましたので、住職さんや檀家さんから貴重なお話を伺いました。

かけはし インタビュー

市議会 × 寿亀山天樹院
「弘経寺」

市議会(以下、議会)

弘経寺の歴史について教えてください。

弘経寺住職(以下、住職)

弘経寺は1414年に開山し、僧侶の養成学校のような役割をしておりました。16世紀終わりに戦乱があり、徳川派と反徳川派での戦いにより、本堂が焼失してしまいますが、その後、千姫様が姫路から江戸城に戻ってこられ、増上寺(現 東京都港区)から照誉了学上人というお坊さんが推挙され、弘経寺第十世に着任し、千姫様と面会しました。荒れ果てた寺を再建するということを発願されたのは千姫様です。さらにお墓を建ててほしいという千姫様の遺言にしたがって御廟が建立されましたが、弘経寺に残っている文書にはお墓には千姫様の遺髪が埋められているということでした。1997年に市の教育委員会が千姫様の御廟を調査しましたところ、中には遺骨が納められておりました。千姫様のお墓は全国に数か所ございますが、お骨が確認されたのは当山だけです。徳川家と強いパイプができたことで、戦乱後再び僧侶の養成所としての役割も担うようになり、関東十八檀林※1の中でも紫衣檀林※2として上位6か寺に入っております。しかし、明治時代には廃仏毀釈、その後は第二次世界大戦で打撃を受け、このままでは存続が難しいということで、増上寺の別院となり、増上寺の管理の中で運営されることになりました。